

# 兵庫県立 考古博物館 NEWS

Vol.22



Hyogo Prefectural  
Museum of  
Archaeology



2018 Autumn-Winter

平成30年秋冬号

■特別展「装飾大刀と日本刀」

◆展覧会「唐王朝の彩り」

◆企画展「ひょうごの遺跡2019」

県政  
150  
周年記念事業  
特別展

# 装飾大刀

と

# 日本刀

煌めきの刀剣文化

赤松政則作刀  
姫路市指定文化財  
(姫路市美術館蔵・写真提供)

頭椎大刀・文堂古墳  
兵庫県指定文化財  
(香美町教育委員会蔵・写真提供)

## 県政150周年記念事業 特別展

## 「装飾大刀と日本刀 ―煌めきの刀剣文化―」

期間：平成30年10月6日(土)～12月2日(日)

日本人は古来より現代にいたるまで、他国に類を見ないほど刀剣を尊重し続けてきました。そのことは、現代まで伝わる優れた技術で作られた日本刀だけでなく、古墳などから出土した刀剣にも見てとることができます。

刀剣は弥生時代に農耕文化の伝来とともに大陸より伝わり、石・銅・鉄を使って作られ始めました。弥生時代後期以降には、卑弥呼が魏から下賜されたとされる「五尺刀」のような大型の大刀や剣などが広まりはじめました。

とりわけ古墳時代の後期には朝鮮半島から伝わった技術の影響を受けて金や銀で装飾された煌びやかな大刀が多く作られました。刀の柄を飾る金具には龍や鳳凰などの様々なデザインが表現されているところが特徴的です。彫り込んだ溝に銀を埋め込んだ象嵌により文様を表現したり、金や銀を表面に貼り付けて装飾を行っています。文堂古墳(香美町)出土の双龍環頭大刀や頭椎大刀は全体が金色で覆われています。



いわず 鹿屋1号墳(三木市)出土の単鳳環頭大刀柄頭(当館蔵)

古墳が造られなくなると刀剣が出土することは、かなり少なくなります。そのなかで、中世の墓や経塚などから出土した太刀や短刀、戦国時代の城跡や城下町から出土した細かな細工が施された刀装具は、伝世の刀剣と比較して、当時の刀剣文化を考えるうえで貴重な資料となります。

室町時代から江戸時代にかけては、「千草鉄」と呼ばれた兵庫県内で生産されたブランド原料が日本刀に使われたことも注目されます。このことは、史料や刀銘から知られていますが、宍粟市内で発見されている平安時代以降の製鉄遺跡にもその関連がうか



江ノ上経塚(加西市)出土の太刀 県指定文化財  
(加西市教育委員会蔵・兵庫県立歴史博物館寄託)

がえます。

今回の展示では、古墳時代の装飾大刀を中心に、弥生時代から江戸時代の出土刀剣や伝世の日本刀から日本人の愛した刀剣の歴史をご覧ください。

(学芸課 池田征弘)

## 《講演会・イベント情報》

## ☆講演会

会 場：当館講堂

時 間：13:30～15:00

定 員：120名

参加費：無料

## ●10月6日(土)

「装飾大刀からたどる倭と

古代朝鮮諸国とのかかわり」

金 宇大(京都大学白眉センター特任助教)

## ●10月20日(土)

「金と銀の大刀からみた兵庫の古代」

豊島直博(奈良大学文学部教授)

## ●10月27日(土)

「日本刀への過程と比較史」

津野 仁

(公財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター副主幹兼課長)

## ●11月24日(土)

「中世の日本刀と掙(こしらえ)」

川見典久(公財黒川古文化研究所研究員)

## 【体験イベント】

遺跡ウォーク

「宮山古墳(姫路市)と周辺の古墳を巡る」

日 時：平成30年11月17日(土)

10:00～15:00

定 員：20人

参加費：200円

要予約 9月17 日(月)祝～ 受付開始

## 加西分館「古代鏡展示館」 秋季企画展

## 「唐王朝の彩り ―宮廷の栄華をうつす金銀銅―」

期間：平成30年9月14日(金)～平成31年3月12日(火)

場所：加西分館「古代鏡展示館」(加西市豊倉町飯森1282-1)

西暦618年、隋末の混乱期に挙兵した李淵は、長安を都として唐王朝を建国しました。長安(陝西省西安市)は大帝国の首都として世界最大の都市に成長しました。

長安へは、西域からシルクロードをとおりササン朝ペルシアの文化が伝えられ、ビザンツ帝国やイスラム世界とも接触する異国情緒に富んだ文化が流入しました。そして、中国風の文化と融合し、国際性豊かで、優雅に成熟した貴族文化として開花することになり、繊細な技術やエキゾチックなモチーフを用いた華美な文物が彩りを添えたのです。

本年(2018年)はその唐建国の1400年の節目にあたります。このため、千石唯司氏所蔵のコレクションのうち唐代を代表する華麗な金銀器や銅鏡などの作品を展示して、唐宮廷文化の繁栄と栄華の軌跡をたどります。

(加西分館 種定淳介)



青銅ガラス象嵌四神鏡



金透彫禽唐草紋釵



銀鍍金禽獸草花紋三足壺(鍍)

## 県政150周年記念事業 企画展

## 「ひょうごの遺跡2019 ―調査研究速報―」

期間：平成31年1月19日(土)～3月24日(日)

考古学の最新の調査研究成果を一堂に公開する展覧会です。

発掘調査報告書を刊行した遺跡と、平成30年度に発掘調査を行った遺跡の中から、選りすぐりの資料をご覧ください。

発掘調査では、姫路市の前田遺跡から出土した子壺を連結した装飾付須恵器壺(写真)が特筆されます。

出土品整理からは、南あわじ市の井手田遺跡の樽型はそう・把手付中空円面硯などを展示するとともに、兵庫県内の各遺跡の紹介を行います。

(学芸課 松井良祐)



装飾付須恵器壺(前田遺跡)



## イベント

11/17土	遺跡ウォーク 宮山古墳(姫路市)と周辺の古墳を巡る	要予約
時間	10:00～15:00	予約 9/17(月祝)～
定員	20名	料金 200円 対象 どなたでも
TEL(学芸課直通)	079-437-5562	
1/2水	考古博 DE お正月	当日受付
新春のあそびを用意しています。		
時間	12:30～15:30	料金 無料 対象 どなたでも
学芸員によるミニ講座 当日受付		
考古博の常設展示の一つを詳しく紹介します。		
9/9日・9/16日・9/23日・9/30日 13:30～14:00 [要観覧券]		

## 講演会

13:30～15:00(12:50 開場) 当館講堂  
※混雑時は開場時間を早める場合があります。定員 120 名[無料]

### 秋の特別展

### 兵庫考古学研究最前線 2018

10/6土	装飾大刀からたどる倭と古代朝鮮諸国とのかかわり 金 宇大(京都大学白眉センター特定助教)
10/20土	金と銀の大刀からみた兵庫の古代 豊島直博(奈良大学文学部教授)
10/27土	日本刀への過程と比較史 津野 仁((公財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター副主任兼課長)
11/24土	中世の日本刀と拵(こしらえ) 川見典久((公財)黒川古文化研究所研究員)
9/15土	江戸時代における円山川・市川高瀬通船近回り輸送計画 松井良祐(当館学芸員)
9/22土	発掘! 兵庫の城館 山上雅弘(当館学芸員)
9/29土	淡路の初期銅鐸群と鉄器工房群—国生み神話の原郷— 石野博信(当館名誉館長)
12/8土	近畿の中近世墓—兵庫県の調査成果を中心に— 西口圭介((公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長)
1/12土	アイルランドの巨石墳 和田晴吾(当館館長)
2/2土	考古学から見た律令制 別府洋二((公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長)
2/16土	探訪 世界の博物館—ハズオン展示と子供博物館— 村上賢治(兵庫陶芸美術館所長補佐)
3/2土	庭園と考古学 平田博幸(当館事業部長)
3/10日	発掘調査速報会 13:30～16:00(12:50 より整理券配布) (公財)兵庫県まちづくり技術センターの調査担当者が最新の発掘成果を速報 当館講堂 定員 120 名 [無料]

- 「特別展展示解説」は特別展開催期間中の日曜日に実施。13:30～14:00※要観覧券
- 「石棺に入ろう」は毎週土曜日、「古代船に乗ろう」は毎週日曜日に実施。14:30～15:30
- イベントについての詳細情報は当館ホームページやチラシでご確認ください。

## 体験講座

要予約

TEL 079-437-5564【学習支援課】

10/14日	古代の大刀の柄頭に挑戦	
時間	10:00～15:30	定員 16名 料金 1000円
対象	小4～	予約 8/14(火)～
10/20土	組紐でマフラーをつくろう①	
時間	10:00～12:00	定員 5名 料金 1000円
対象	小4～	予約 8/21(火)～
10/20土	組紐でマフラーをつくろう②	大人向け
時間	13:30～15:30	定員 5名 料金 1000円
対象	高校生～	予約 8/21(火)～
12/16日	人物埴輪をつくろう	
時間	10:00～15:00	定員 15名 料金 1000円
対象	小4～	予約 10/16(火)～
1/13日	琥珀(こはく)のまが玉をつくろう	大人向け
時間	10:00～15:30	定員 10名 料金 1200円
対象	高校生～	予約 11/13(火)～
1/27日	節分～鬼瓦のお面で鬼退治～	
時間	13:30～15:30	定員 20名 料金 無料
対象	どなたでも	予約 11/27(火)～
2/10日	古代の技に学ぶかごづくり～天然素材の小物入れ～	大人向け
時間	10:00～12:00	定員 6名 料金 500円
対象	高校生～	予約 12/11(火)～
2/24日	ガラスまが玉でアクセサリをつくろう	大人向け
時間	10:00～15:30	定員 12名 料金 1000円
対象	高校生～	予約 1/2(水)～

**毎日できる古代体験** : 10:00～12:00(受付は11:30まで)  
: 13:00～15:30(受付は15:00まで)

有料メニュー (ミュージアムショップにてキット購入) 無料メニュー

まが玉づくり…製作時間: 約1時間 組みひもづくり…製作時間: 約15分(対象: 6歳以上)

ミニミニ石包丁づくり…製作時間: 約1時間 古代の火おこし…所要時間: 約15分

土器あわせ・ぬりえ・パズル

※時間には余裕をもってご来館下さい。※天候等により体験いただけない場合もあります。※団体は要事前相談。

兵庫県立考古博物館 加西分館 古代鏡展示館 Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors

加西分館講演会のお知らせ  
要予約 TEL 0790-47-2212

平成 30 年  
11 月 10 日(土) 「唐王朝の精華～輝ける金銀器～」  
申込 10 月 1 日(月)～ 山中 理(白鶴美術館顧問)

平成 31 年  
1 月 19 日(土) 「唐鏡の変遷」  
申込 12 月 1 日(土)～ 廣川 守(泉屋博物館副館長)

両日とも13時30分～15時 会場/古代鏡展示館2階(県立フラワーセンター第1会議室)  
定員/各回先着30名 料金/無料 対象/中学生以上

冬季スポッポ展示のお知らせ  
「干支 亥」平成31年 1月2日(水)～3月12日(火)  
亥年の干支にちなんだ鏡を紹介します。

加西市豊倉町飯森1282-1(県立フラワーセンター内) TEL 0790-47-2212

## 兵庫県立考古博物館NEWS vol.22 2018 Autumn-Winter

発行年月日 平成 30 年 9 月 1 日

編集・発行 兵庫県立考古博物館  
〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1  
TEL.079-437-5589  
FAX.079-437-5599  
http://www.hyogo-koukohaku.jp/

- 電車をご利用の方/JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分  
山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いを徒歩25分
- お車をご利用の方/第2神明・加古川バイパス明石西I.C.から約3km
- 駐車場/町営大中遺跡公園駐車場・野添であい公園駐車場をご利用  
ください(普通車1回200円)
- 休館日/月曜日(祝休日の場合は翌平日)



触れる・体感する、考古学のワンダーランド  
兵庫県立考古博物館

